

2021.12.21

第5回副首都推進本部（大阪府市）会議

資料 3

大阪 I R 長期構想（案）

大阪府・大阪市 I R 推進局

大阪 I R の将来イメージ

大阪・関西の持続的な経済成長のエンジンとなる世界最高水準の成長型 I R をめざす

- 大阪・関西が強みを有するライフサイエンス、ウェルネスといった成長分野や、地域の芸能やアートを施設やコンテンツに取り入れ、関係する国際的イベントを誘致・創出する等、成長分野を創出
- 世界中から誘致した人・モノ・投資、情報、才能及びコンテンツを地域と共有し、地域への経済・文化的な波及効果を拡大すると共に I R の魅力の裾野を広げ、次世代の I R へと成長
- 万博後の夢洲 2 期・3 期開発と連携し、さらに長期にわたって夢洲の国際観光拠点形成の基盤となり、夢洲から大阪・関西広域に広がる観光、地域一帯でのエンターテインメント及び M I C E 振興の中心へ
- 地域に根ざし、地域の独自性を反映した新たなコンテンツ導入に取り組み、地域と一体で発展

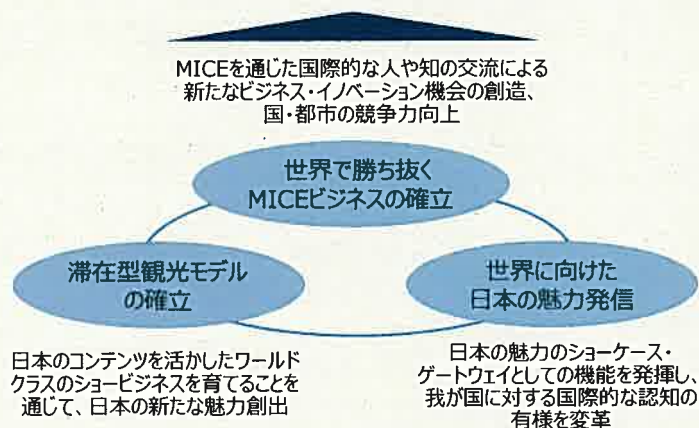


参考：公共政策としての日本型 I R について

独自性と国際競争力を有し、世界中の観光客を惹きつけ、世界と日本の各地をつなぐ交流のハブ

- ▶ これまでにないスケールとクオリティを有する統合型リゾートとして世界中から観光客を集客
- ▶ 豊かな自然や固有の歴史、文化、伝統、食など、日本各地の魅力の発信
- ▶ I R の来訪者の全国各地への送り出し
- ▶ これまでにない展示・会議ビジネスの展開による新たなビジネスの起爆剤

I R を原動力に、観光先進国としての日本を実現



※現時点での想定イメージパースであり、計画進捗に応じて今後変更することがある。

大阪 I R 長期構想 (案)

大阪 I R のコンセプト

“WOW”Next
 すべての人に開かれた
 「世界最高水準」の「成長型 I R」を、
 「地域とともに」創り、育てる

『結びの水都』

大阪・関西を世界と
 つなぐゲートウェイ

ここにしかない最高の
 エンターテインメント

大阪の発展を
 象徴する水

未来を創出する
 イノベーション

大阪 I R がめざす目標

- ✓ 世界水準のオールインワン M I C E 拠点の形成
- ✓ 国内外の集客力強化への貢献
- ✓ 日本観光のゲートウェイの形成

国際競争力の
 高い魅力ある I R
 の実現をめざす

【施設配置イメージ】 ※現時点での計画であり今後の計画調整等により変更することがある。



事業期間

◆ 事業期間：35年間（延長30年間※）

※ I R 事業者は事業期間の満了にあたって延長を申し出ることができ、大阪・関西圏の持続的な経済成長や国際観光拠点の強化等の観点等から、事業の継続を前提に、大阪府・市及び I R 事業者で条件等（延長後の投資計画を含む。）を協議

長期・安定的な事業を実現するための体制

◆ 適切なガバナンス機能を確保し、円滑かつ確実な事業実施の確保と長期間の安定的・継続的な事業の継続を図る。

- I R 事業者によるセルフモニタリング
- 大阪府・市によるモニタリング
- 大阪府・市及び I R 事業者による会議体の設置
- I R 事業評価委員会の設置
- 金融機関との連携 等

将来イメージ実現への基本コンセプト

集積・創出	人・モノ・情報、才能やコンテンツの集積・創出
波及	I R から観光・文化・産業発展のメリットを地域へ波及
相互連携	大阪・関西の拠点との相互連携によりグローバル都市としての発展に貢献
持続的発展	交流・社会実証・送客等を通じた地域経済や産業の発展
懸念事項対策	有害な影響の排除による良好な地域コミュニティの形成

地域と I R が共に成長し、アジアの中心となる国際競争力のある
 グローバル都市・大阪を実現するエンジンとなることをめざす

戦略・取組方針

集積・創出

- ◆ 海外から夢洲、関西・西日本への新しい流れを創出
 - 訪日観光客の地域・目的・時期等の多様性向上
 - I R を拠点とする交通ネットワークを形成し周遊人口を拡大
- ◆ 地域一体で新たな産業・イノベーションを創出
 - M I C E を中心に、産業クラスター、中小企業やスタートアップ等を海外のプレーヤーと結び、イノベーションを創出
 - 産業・イノベーション創出の拠点として大阪の都市力向上に寄与

波及

- ◆ 経済的効果の波及
 - 事業運営に係る調達や業務委託、I R 内外での雇用を通じた域内自給の推進や地域人材基盤の拡大
 - I R から大阪・関西、広域への送客による観光振興と地域での消費喚起
- ◆ 社会的効果の波及
 - M I C E 事業等を通じた産業振興やイノベーション創出等の波及

相互連携

- ◆ 夢洲・ベイエリア一帯の成長の中核
 - 咲洲、舞洲、天保山、USJ の特性を活かし、スポーツや交通、クルーズ客船誘致等、相互連携を強化
- ◆ 大阪・関西の西の新たな拠点を形成
 - 中之島、うめきた、新大阪、東の拠点となる森ノ宮等の主要拠点と連携し、大阪の国際競争力確立に貢献

持続的発展

- ◆ 持続的でスマートなまちづくり
 - 拡張性のあるスマートシティ基盤を整備、来訪者等に価値を提供するスマートシティ実現
- ◆ 夢洲全体のまちづくりと再投資による継続的発展
 - I R 事業の収益を活かして、継続的に施設・技術・サービス・コンテンツを更新し、国際競争力を維持・向上
 - 夢洲 2 期・3 期と連携してエンターテイメント・レクリエーション機能を強化し、滞在型観光拠点として発展
 - 海上アクセス拠点の拡張（浮桟橋増設）・新規航路開設をめざす

懸念事項対策

- ◆ 大阪がギャンブル等依存症対策のトップランナー
 - 法令等の厳格な遵守と依存症に関する啓発・予防プログラムの導入及び継続的な改善
- ◆ 都市魅力向上のエンジン
 - 関係機関との緊密な協力体制の構築、先端技術の導入等による I R 区域内の良好な治安と安全な交通を実現するための高度な対応

カジノ事業の収益等の活用

- ◆ カジノ事業の収益等の活用により、開業後も長期的・継続的に I R 事業内容の向上と I R 区域の魅力向上に取り組み、大阪 I R の持続的な成長を図る
- ◆ カジノ事業の収益等の活用の内容
 - 施設の修繕・建替、施設拡張、コンテンツ更新・追加
 - 大阪府・市が実施する施策への協力、依存症対策、治安・風俗環境対策 等
- ◆ 収益等の還元見込み額：約 8,000 億円（35 年間の合計）
 - ※当初事業計画に基づく想定見込み額（実際金額は実際の事業状況に応じて変動）

<展示等施設の拡張整備>

- 開業後 15 年以内を目途に 6 万㎡以上、事業期間内に 10 万㎡以上に拡張する計画
- ※ 段階整備の時期・規模等については、新型コロナウイルス感染症による影響等も含め、展示会等の需要動向、M I C E ビジネスモデル、I R 事業者の財務状況等を踏まえて、必要に応じ見直す。

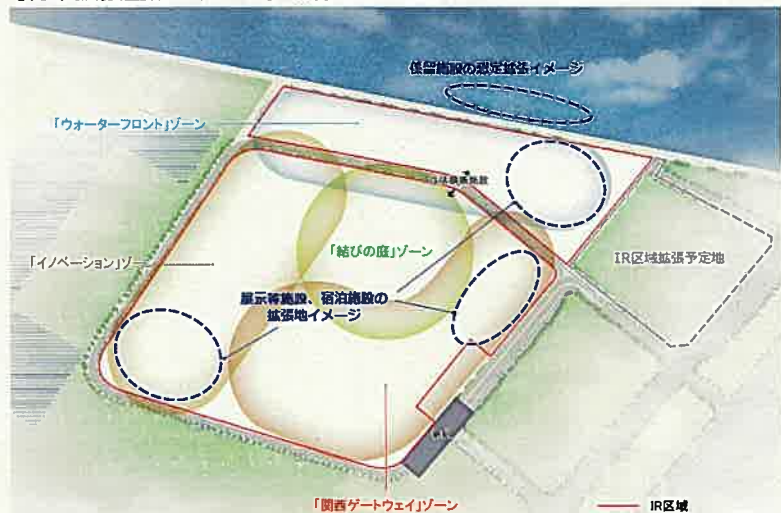
<宿泊施設の拡張整備>

- 事業期間内に 3,000 室以上に拡張する計画
- ※ 段階整備の時期・規模等については、新型コロナウイルス感染症による影響等も含め、来訪者の需要動向、展示等施設の拡張状況、I R 事業者の財務状況等を踏まえて、必要に応じ見直す。

< I R 区域の拡張整備>

- 将来的な I R 区域拡張予定地（約 9 万㎡）を位置付け
- 開業から 10 年以内を目途に、大阪府・市及び I R 事業者で協議し取扱いを決定

【将来拡張整備のイメージ】※現時点での想定イメージであり確定したものではない。



会議資料の一部黒塗り処理について

本資料のパーズ図には、著作権等の権利処理が未了である又はその可能性を排斥できないデザイン及び画像等が含まれていたことから、一部のパーズ図の黒塗り処理を施しています。